

階上小学校

安全だより

令和2年12月14日

階上小学校

防災・安全部

気仙沼市・東日本大震災震災遺構伝承館を見学しました

4年生の総合的な学習の時間「災害の種類や仕組みを知ろう」の学習の一環で、伝承館を見学しました。

はじめに震災当時の映像を見て、旧向洋高校である遺構を見学しました。3つのグループに分かれて、語り部の方が付いて説明したりクイズを出したりしていただきました。児童は遺構を見学し、教室に散乱している教科書や、波の力で運ばれてきた車両などを見て、津波の怖さを実感しました。また、怖さだけではなく、語り部の方の解説により、地域の方の家々があったことや、被災者の思いに気付くことができ、少しずつ自分事として捉えられるようになりました。

見学後の振り返りでは、感じたことや伝えたいことなどを一人一人が付箋紙に書きました。「階上小学校4年生」として伝承館に展示してありますので、足を運んで御覧いただければと思います。



〈児童の振り返りから〉

東日本大震災後の階上中学校の卒業生代表の人が言っていたことに感動しました。それに、震災のことを後の世代の人に伝えたいと思います。

たくさんの方たちが命をおとし、つらくてたまらない人もいるし、大切な人を失った人もいるかもしれません。(被災した)車やくつなどを見て、どのくらい被害が大きかったかが分かりました。

東日本大震災のことはあまり知らなかったけど、生きぬいた人たちはとても悲しくてつらかったということがよく分かりました。ぎせいになったたくさんの人たちは、震災がなければもっと生きられたはずなので、すごく悲しいです。自分が今生きているのはその人たちのおかげです。これからも命を大事にしたいです。